

# 2021年12月期 第2四半期決算説明資料



人と自然と  
未来をつなぐ

2021年8月31日  
株式会社やまびこ








<b>1. 2021年12月期第2四半期</b>	
<b>決算概要</b> .....	<b>2</b>
<b>2. 2021年12月期</b>	
<b>業績予想</b> .....	<b>10</b>
<b>3. 2021年12月期</b>	
<b>経営方針および重点施策など</b> .....	<b>14</b>
<b>添付資料</b>	
<b>会社概要など</b> .....	<b>28</b>

# 1. 2021年12月期第2四半期 決算概要

## 2021年12月期第2四半期 総括

新型コロナウイルスの感染拡大による在宅時間の増加などを背景に、海外OPEは旺盛な需要が継続。国内は産機が新型コロナウイルスによる販売活動の制限により低迷が続くも、農機が政府による経営継続補助金の追い風を受けました。以上の結果、第2四半期累計期間として売上高・利益ともに過去最高を更新。

《セグメント概況》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

市場	セグメント	一般概況	当社状況 (現地販売)
国内	小型屋外 作業機械 (OPE)	●前年の定額給付金による需要の反動減も、順調な天候などを背景に、刈払機の出荷実績は前年を上回った（日本農業機械工業会）。	
	農業用 管理機械	●政府による経営継続補助金により防除機等が追い風を受けて、1-6月の農業機械出荷額は前年比1.4%増（日本農業機械工業会）。	
	一般産業用 機械	●国内需要は2か月連続で増加するなど回復の兆しが見え始め、1-6月の建設機械出荷額は前年比0.6%減（日本建設機械工業会）。	
海外	小型屋外 作業機械 (OPE)	●北米市場：順調な天候や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより引き続き需要は旺盛。	
		●中南米市場：政情不安・経済問題は継続も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市場が回復。	
		●欧州市場：順調な天候や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより引き続き需要は旺盛。	
	農業用 管理機械	●北米市場：穀物価格の回復を背景に需要環境が改善。	

## 2021年12月期第2四半期 経営成績



(百万円)	20/12期 2Q実績	構成比 (%)	21/12期	構成比	前年同期比
			2Q実績	(%)	(%)
売上高	67,989	100.0	76,398	100.0	+ 12.4
売上原価	48,618	71.5	55,127	72.2	+ 13.4
販管費	13,329	19.6	14,407	18.9	+ 8.1
営業利益	6,041	8.9	6,863	9.0	+ 13.6
経常利益	5,992	8.8	7,264	9.5	+ 21.2
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,128	6.1	5,393	7.1	+ 30.7

### 為替レート

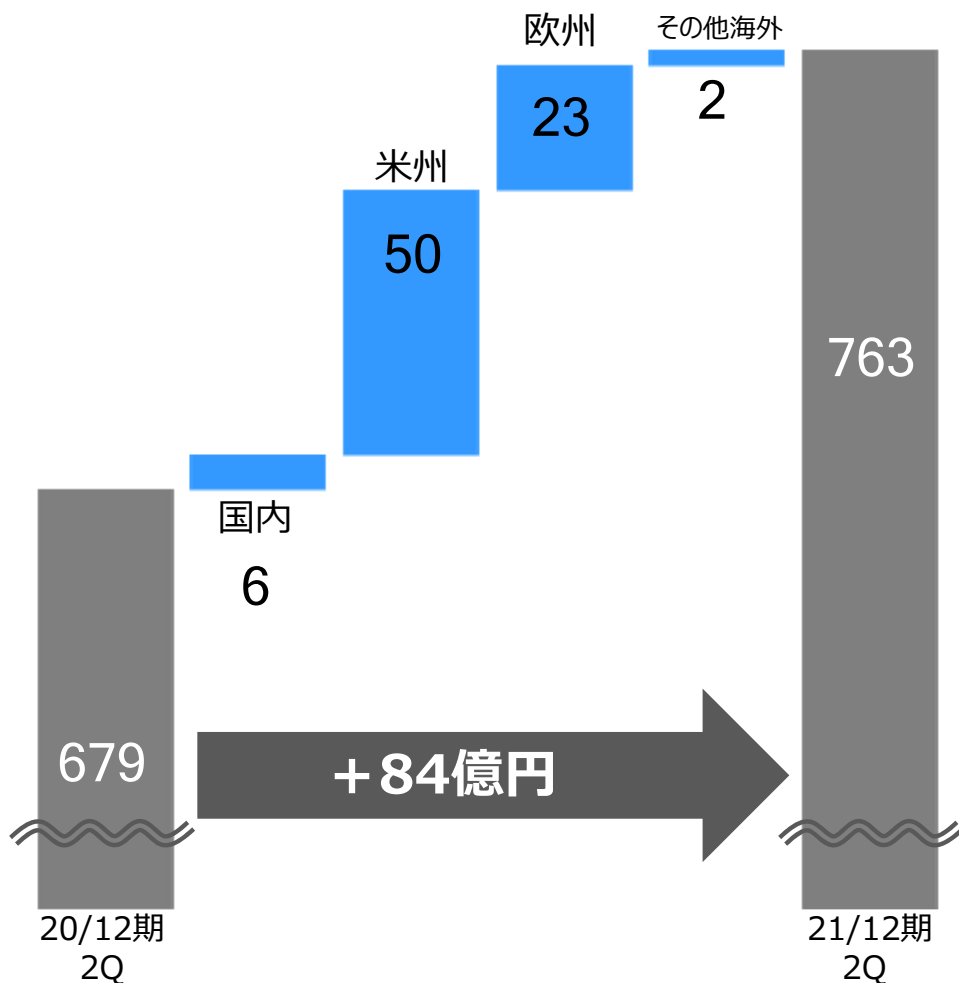
1ドル	当社レート	109 円	108 円	▲ 0.9
	米国子会社 換算レート	108 円	108 円	▲ 0.4
1ユーロ		120 円	129 円	+ 8.1

- ✓ 売上高は、主力の海外はOPEが米州や欧州を中心に大幅に増加した。北米産機も回復の兆候。国内は産機が低迷するも農機の補助金事業の伸長がそれを補った。
- ✓ 海外でのOPEの大幅増収により営業利益、経常利益、最終利益ともに増益。



# 連結売上高の増減

(億円)



## 【国内】

需要回復に時間を要す産機の減収を、政府の経済対策に伴う農機売上増が補う。草刈機なども好調に推移。

## 【米州】

OPEは在宅時間の増加に伴う旺盛な需要が継続し、刈払機やチェーンソーなどの主要製品が伸長したことに加え、アクセサリー販売も伸長して大幅な増収。

## 【欧州】

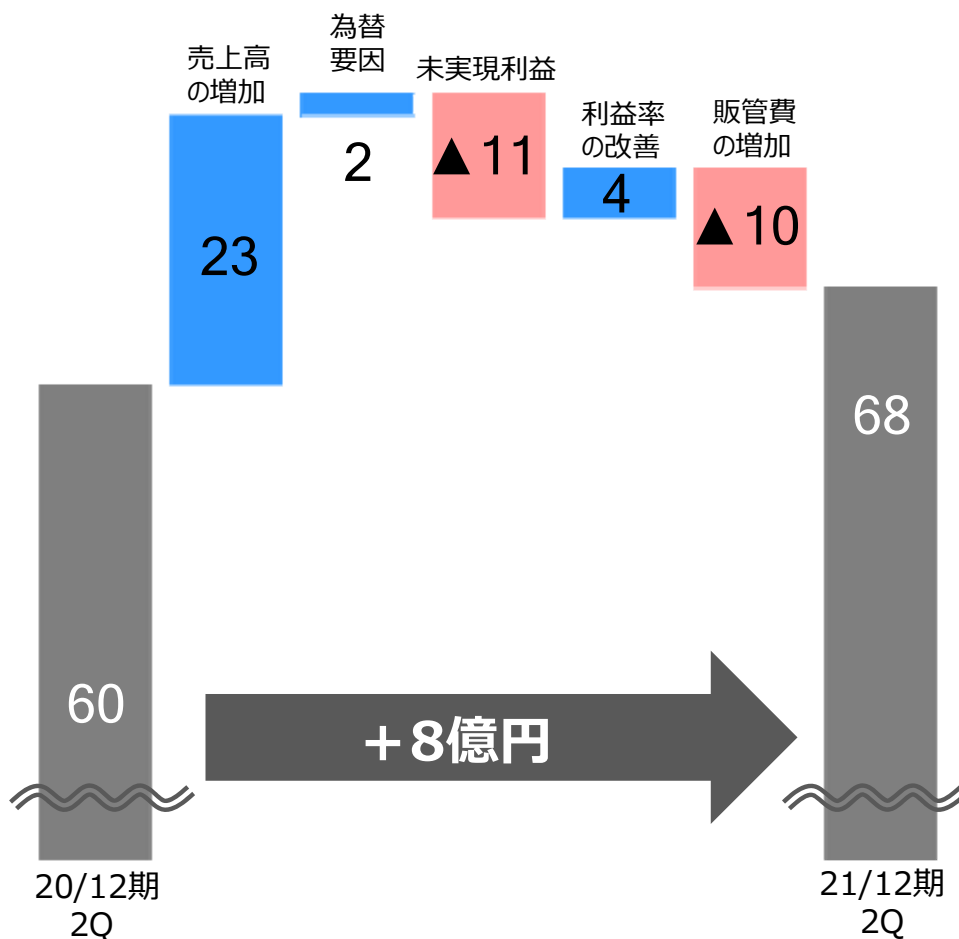
OPEが在宅時間の増加に伴う旺盛な需要が継続し大幅な増収。

## 【その他海外】

アジアおよびオセアニアの需要減退は底打ち感。

# 連結営業利益の増減

(億円)



## 【売上高要因】

売上高の増加による利益の増加。

## 【為替要因】

主に円安に伴う利益の増加。

## 【未実現利益】

積送品を含む在庫の増加。

利益への影響額

21年12月期2Q 5.3億円のマイナス

20年12月期2Q 5.5億円のプラス

⇒前期対比 10.7億円のマイナス影響

## 【利益率】

OPE生産量増加に伴う利益率の改善。

## 【販売管理費】

売上の増加に伴う営業費用や従業員還元の増加など。

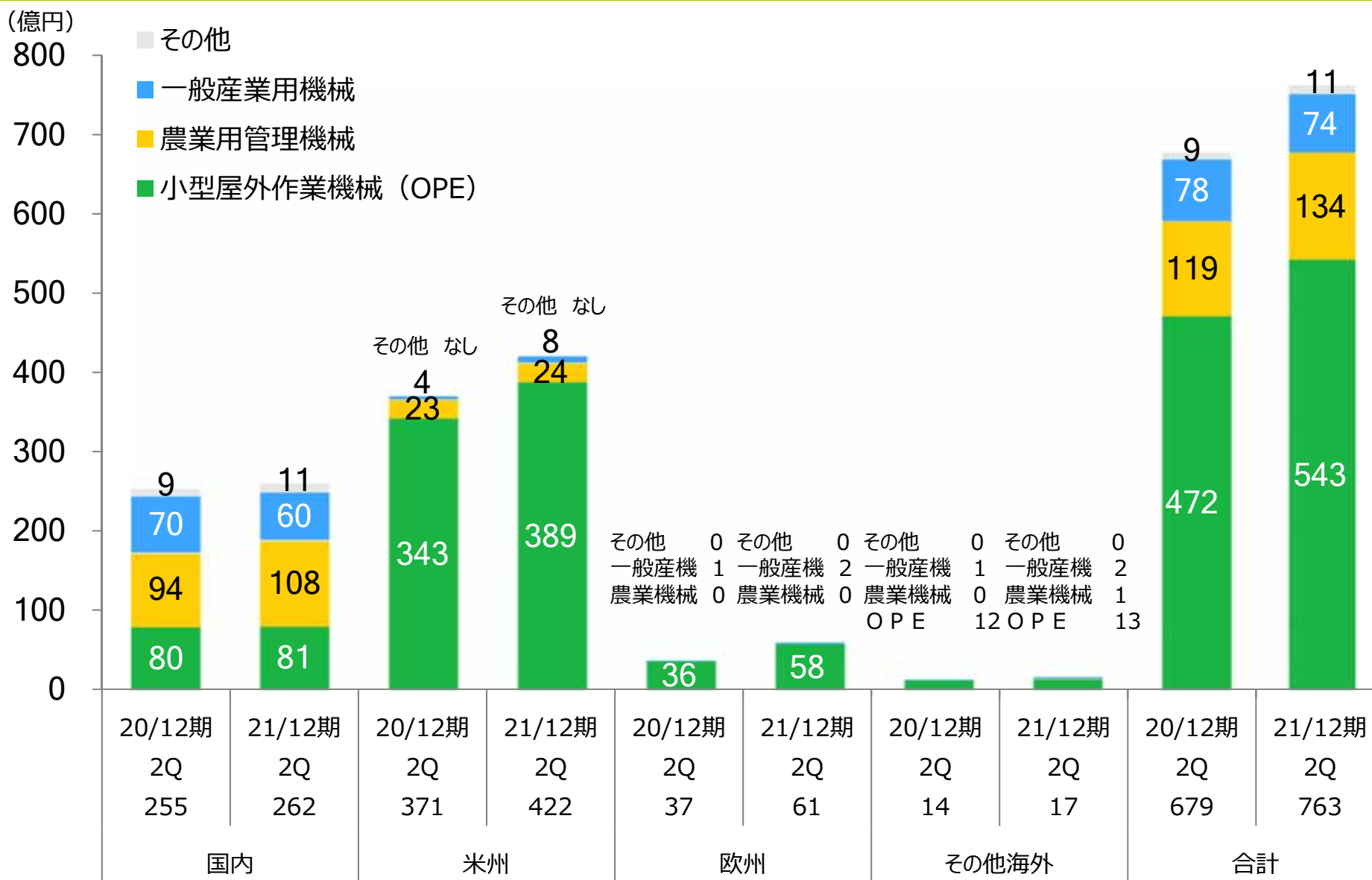
## セグメント別経営成績



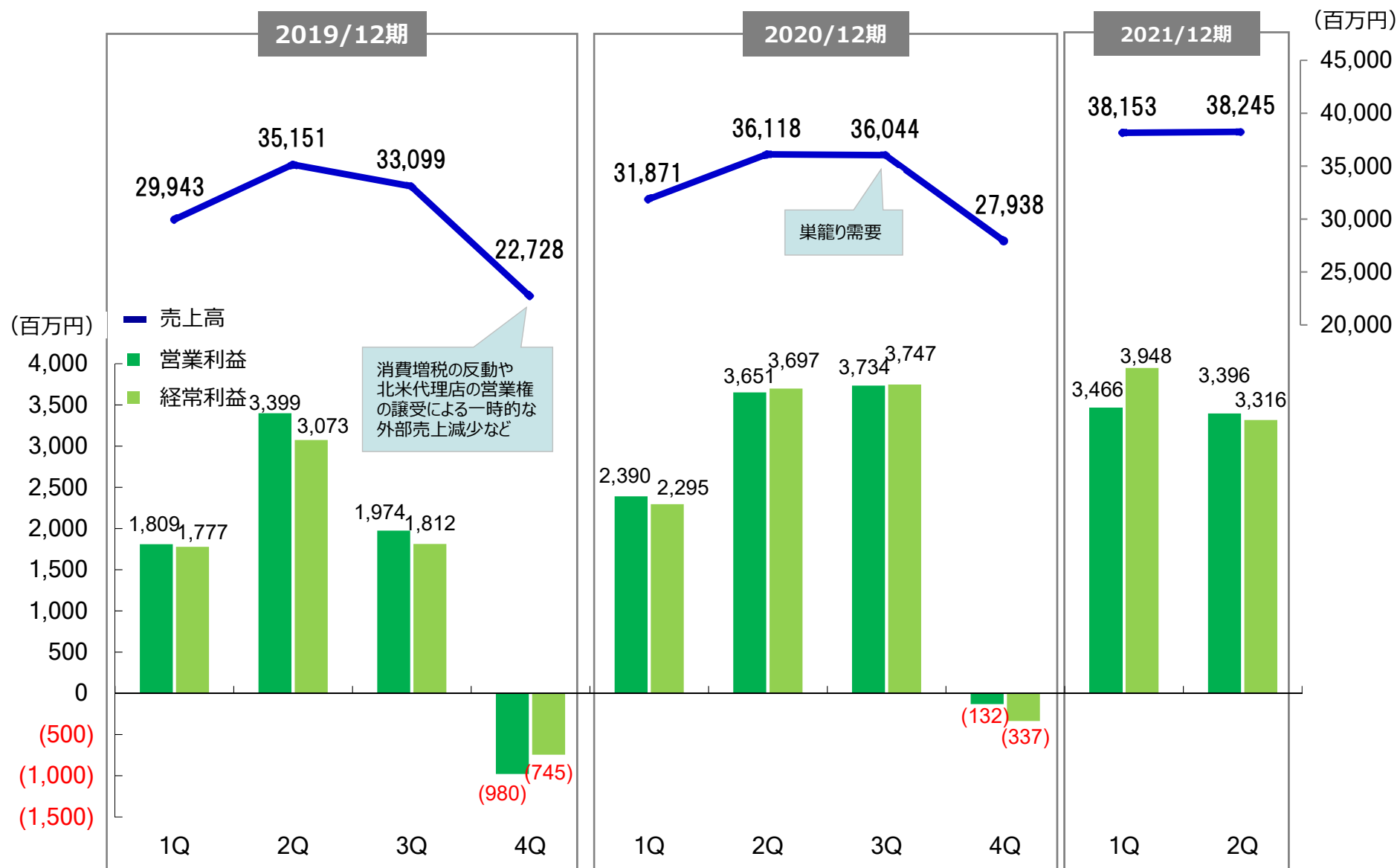
(百万円)	20/12期 2Q実績		21/12期 2Q実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	67,990	100.0	76,398	100.0	+ 12.4
小型屋外作業機械	47,262	69.5	54,358	71.2	+ 15.0
農業用管理機械	11,950	17.6	13,489	17.7	+ 12.9
一般産業用機械	7,828	11.5	7,406	9.7	▲ 5.4
その他	950	1.4	1,145	1.5	+ 20.5
営業利益	6,041	-	6,863	-	+ 13.6
小型屋外作業機械	8,165	135.2	9,224	134.4	+ 13.0
農業用管理機械	184	3.0	254	3.7	+ 38.1
一般産業用機械	544	9.0	339	5.0	▲ 37.6
その他	171	2.8	211	3.1	+ 23.5
全社共通費	▲ 3,023	-	▲ 3,166	-	-



# セグメント別地域別売上高実績



# 四半期別 業績推移



## 2. 2021年12月期 業績予想

## 2021年12月期（通期） 予想



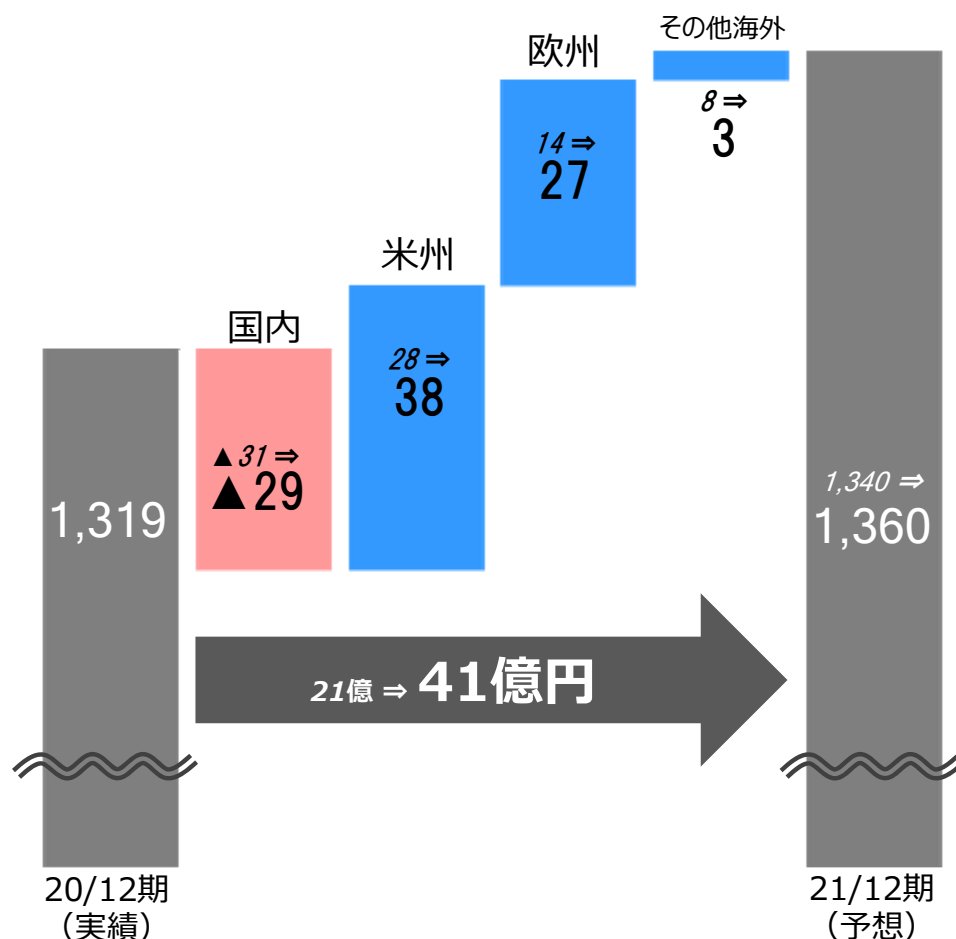
(百万円)	20/12期 実績	構成比 (%)	21/12期 修正予想 8月11日発表			21/12期 前回予想 5月12日発表
			構成比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	
売上高	131,972	100.0	136,000	100.0	+ 3.1	134,000
売上原価	94,331	71.5	97,200	71.5	+ 3.0	96,600
販管費	27,997	21.2	30,300	22.3	+ 8.2	29,700
営業利益	9,643	7.3	8,500	6.3	▲ 11.9	7,700
経常利益	9,402	7.1	8,500	6.3	▲ 9.6	7,700
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,635	5.0	6,100	4.5	▲ 8.1	5,600
為替レート						
1ドル	当社レート	107 円	105 円	▲ 1.7		105円
	米国子会社 換算レート	107 円	105 円	▲ 1.6		105円
1ユーロ		122 円	120 円	▲ 1.7		120円

- ✓ 売上高は、海外は主力の北米や欧州のOPEで想定以上の需要が継続すると期待される。国内は農機の政府による経済政策効果が下期に剥落することに加え、産機がインフラ整備に伴う発電機需要の反動減を予想。
- ✓ 販売数量の増加に伴う利益の押し上げ効果があるものの、原材料費や輸送費の高騰や国内外の開発投資の増加などにより、前年と比べて営業利益、経常利益、最終利益ともに減益を見込む。

# 連結売上高の増減（予想）

(凡例) ▲31 ⇒ ▲29  
 ●2021年5月12日 業績予想  
 ●2021年8月11日 業績予想修正

(億円)



**【国内】**  
 上期は政府の経済政策効果あるも、下期はそれが剥落し通年では前年対比で大幅減収を見込む。

**【米州】**  
 前年からの需要が想定以上に継続。北米代理店などでは在庫が低水準で推移しており、後半も堅調な需要を見込む。一方で物流の正常化には年末までかかると予想。

**【欧州】**  
 西欧を中心に高い需要が継続。物流船腹確保・運賃高騰の解消は米州向け同様年末を見込む。

**【その他海外】**  
 前年の落ち込みからは回復を見込む。

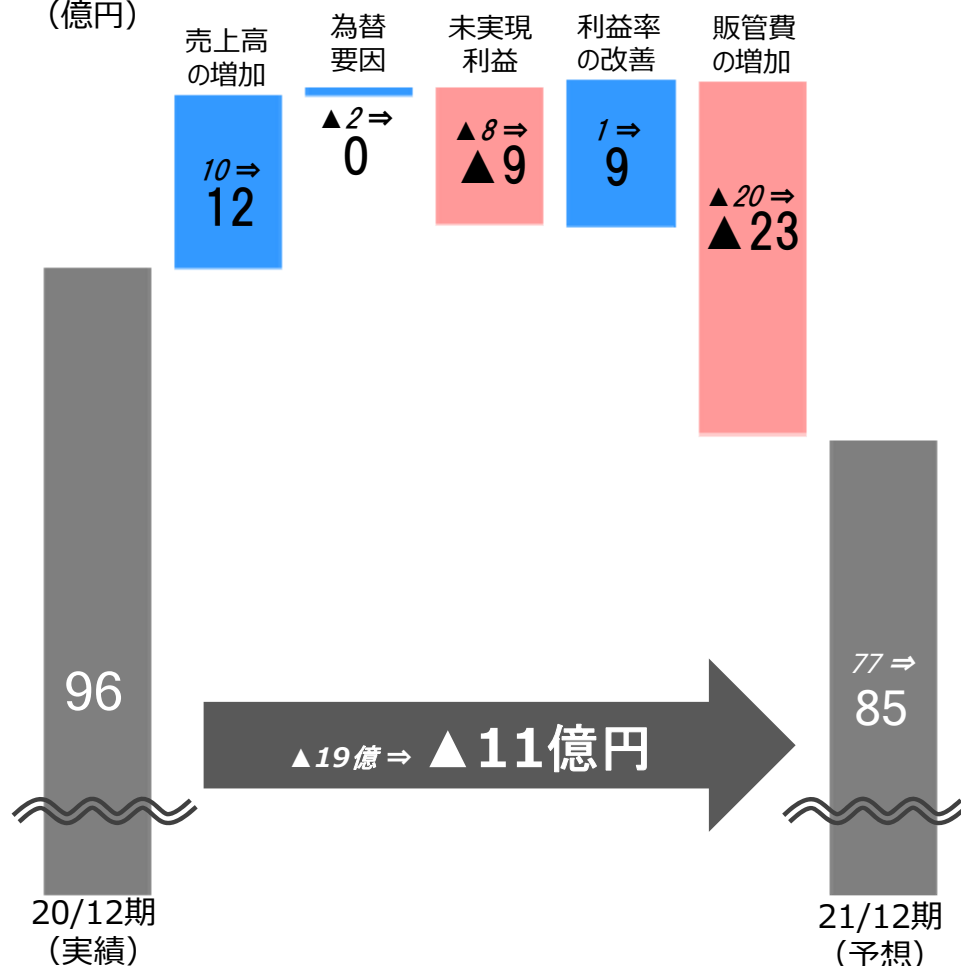
# 連結営業利益の増減（予想）

（凡例）

10 ⇒ 12

- 2021年5月12日 業績予想
- 2021年8月11日 業績予想修正

（億円）



## 【売上高要因】

国内は期初計画よりも増収を見込むものの、前年度実績対比では大幅減収減益。海外は増収。

## 【為替要因】

期中の為替変動により利益への影響は縮小。

## 【未実現利益】

積送品を含む在庫の増加。

利益への影響額

21年12月期 3.1億円のマイナス

20年12月期 5.9億円のプラス

⇒前期対比 9.0億円のマイナス影響

## 【利益率】

原材料・資材コスト上昇を量産効果と継続する原価低減活動により補う。

## 【販売管理費】

計画していた開発投資、ITインフラのセキュリティ強化のための費用に加えて、売上の増加に伴う営業費用増や従業員への賞与の増加等。



### 3. 2021年12月期

## 経営方針および重点施策など

## 2021年12月期は5つの施策に重点的に取り組む

1

開発組織の再編

2

経営基盤の強化

3

IT基盤の強化とDX

4

売上の拡大と収益性の向上

5

やまびこグループのサステナブル経営

1

## 開発組織の再編

進捗状況	今後の取組み
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 4月に組織再編を実施（完了） ⇒セグメント別に運営管理されていた 開発組織を再編し要改善項目の炙り出し</li><li>■ 北米バッテリーR&amp;Dセンターの拡充</li><li>■ 農機セグメントの収益改善タスクフォースの 設置</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 開発プロトコル・BOMの整理による開発 効率向上</li><li>■ 営業組織との有機的な連携による市場との 対話を加速</li><li>■ バッテリー製品のグローバルプラットフォーム 管理組織の新設</li><li>■ 農機セグメントの収益改善タスクフォースの 設置（継続）</li><li>■ 組織最適化の継続</li></ul>

# セグメント別の概況

- ・4月にセグメント別に独立した開発部門を開発統合本部の傘の下に再編し、効率向上かつセグメントを横断した開発に着手
- ・IoTを活用した機能や制御システムなど市場で好評な機能を多機種に展開し、高付加価値な製品開発
- ・営業組織との有機的な連携による市場との対話を加速

## 農業用管理機械

- **安心・安全**で操作性の高い製品開発とスマート農業で活躍する補助機の開発
- 収益性の改善  
⇒原価低減  
⇒組織・製品を再構築  
(タスクフォース設置済み)
- メンテナンス、サービスの事業化に取り組む

散布ナビゲーション搭載 ブームスプレーヤ



マッピングに合わせて自動伸縮制御



BSQ6002-ME

散布範囲を自動で調整するシステムを  
広範なモデルに搭載予定

## 小型屋外作業機械

- 新型コロナ拡大以降、海外を中心に高い需要が継続し、グループ総力を挙げて需要に対応している
- グローバルDC製品を来期に上市
- 環境負荷の低いエンジン製品開発に継続して取り組む
- グローバルでのブランド戦略の再考

エンジン製品



eFuel  
alliance

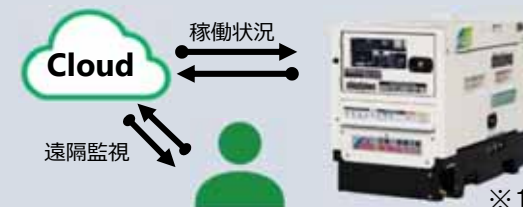
バッテリー製品

引き続きエンジン製品に注力しつつ、  
DC製品の拡充とeFuelへの取組みにより  
カーボンニュートラルを進める

## 一般産業用機械

- 省人・省力化への寄与をコンセプトに、建設現場における管理業務の低減など、IoTシステムを活用した機能・製品開発
- 頻発する深刻な自然災害の被害の復旧に貢献する製品群の開発

遠隔モニタリング機能付き発電機



遠隔地の発電機の稼働状況を確認  
保守点検の省人省力化に寄与

※1 システムを搭載している機種とは異なります。

2

## 経営基盤の強化

進捗状況	今後の取組み
<ul style="list-style-type: none"><li>■ グローバル経営の深化 ⇒ 米国子会社社長を執行役員に起用し、 経営陣のグローバル化・多様性を進める</li><li>■ 指名報酬委員会に社外監査役を1名追加し客観性・透明性を確保</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 人事制度を改訂（2022年1月導入検討）</li><li>■ 執行役員に対する成果型インセンティブ導入（今期）</li><li>■ 執行役員の戦略的・現場への集中配置</li><li>■ 取締役・監査役の多様性の確保</li></ul>

3

## IT基盤の強化とDX

進捗状況	今後の取組み
<ul style="list-style-type: none"><li>■ IT基盤・ITネットワークインフラ改修（完了）セキュリティ投資を継続</li><li>■ ERPの改修のための条件・要件定義中</li><li>■ 実際原価の導入準備開始</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ グローバルセキュリティ体制を構築（年内）</li><li>■ 計画したBPRを実行した上で、2023年に改修ERPの運用開始</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>■ DX遠隔モニタリングサービスを実証中</li><li>■ グループウェアの入替（完了）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ やまびこLINK（仮称）年内上市予定</li><li>■ 汎用ビジネスアプリ・ツールの活用と業務効率の向上を進める（継続的に）</li></ul>



4

## 売上の拡大と収益性の向上

進捗状況	今後の取組み
<p><u>売上の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロ向け製品「Xシリーズ」の新モデルを市場に投入</li> <li>■ グローバルDC製品の開発は順調に進捗</li> </ul> <p><u>収益性の改善</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原価低減活動の継続</li> <li>■ 農機セグメントの収益改善タスクフォース設置</li> <li>■ 生産拠点の戦略的配置 ⇒蘇州山彦農機を清算し、事業所を集約</li> </ul>	<p><u>売上の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロ向けを中心とした製品の継続投入</li> <li>■ グローバルDC製品を全世界で上市予定(来期)</li> </ul> <p><u>収益性の改善</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資材・原材料・物流コスト増の売価への転嫁</li> <li>■ 農機製品のポートフォリオ見直しによる黒字化</li> <li>■ IoT等を活用した産機製品のシステム化・サービス事業化への取組み</li> </ul>

5

## やまびこグループのサステナブル経営

進捗状況	今後の取組み
<ul style="list-style-type: none"><li>■ カーボンニュートラルへの取組み</li><li>■ 新コーポレート・ガバナンスコードへの対応</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ TCFD/GHG排出量の公表に向けた準備</li><li>■ プライム市場で求められるガバナンスレベルに準拠</li></ul>

ESG課題に取り組み、持続的な企業価値の向上を図ります

## Environment (環境)

- 環境負荷の低い製品の開発・販売
- グローバルDC製品のラインナップ拡充
- カーボンニュートラルへの取り組み

### eFuel Allianceへの加盟

2021年5月に環境対応の合成燃料の普及を目指す「eFuel Alliance」に加盟し、合成燃料への研究を加速。エンジン製品においてもカーボンニュートラルを目指す。



## Social (社会)

- 安心・安全なものづくり
- ダイバーシティ・働き方改革の推進
- 社会課題（災害・少子高齢化等）を解決する製品の開発・販売

『くるみんマーク』※



※厚労省認定の「子育てサポート企業」に与えられる証

## Governance (ガバナンス)

- 労働安全衛生の推進
- グローバルセキュリティ基盤の強化
- ガバナンス基盤の強化・独立社外取締役の有効な活用

当社事業を通じて、持続的な社会の実現に貢献します

全セグメント



安心・安全なものづくりを

小型屋外作業機械 (OPE)



独自の技術力でエコに貢献



農業用管理機械



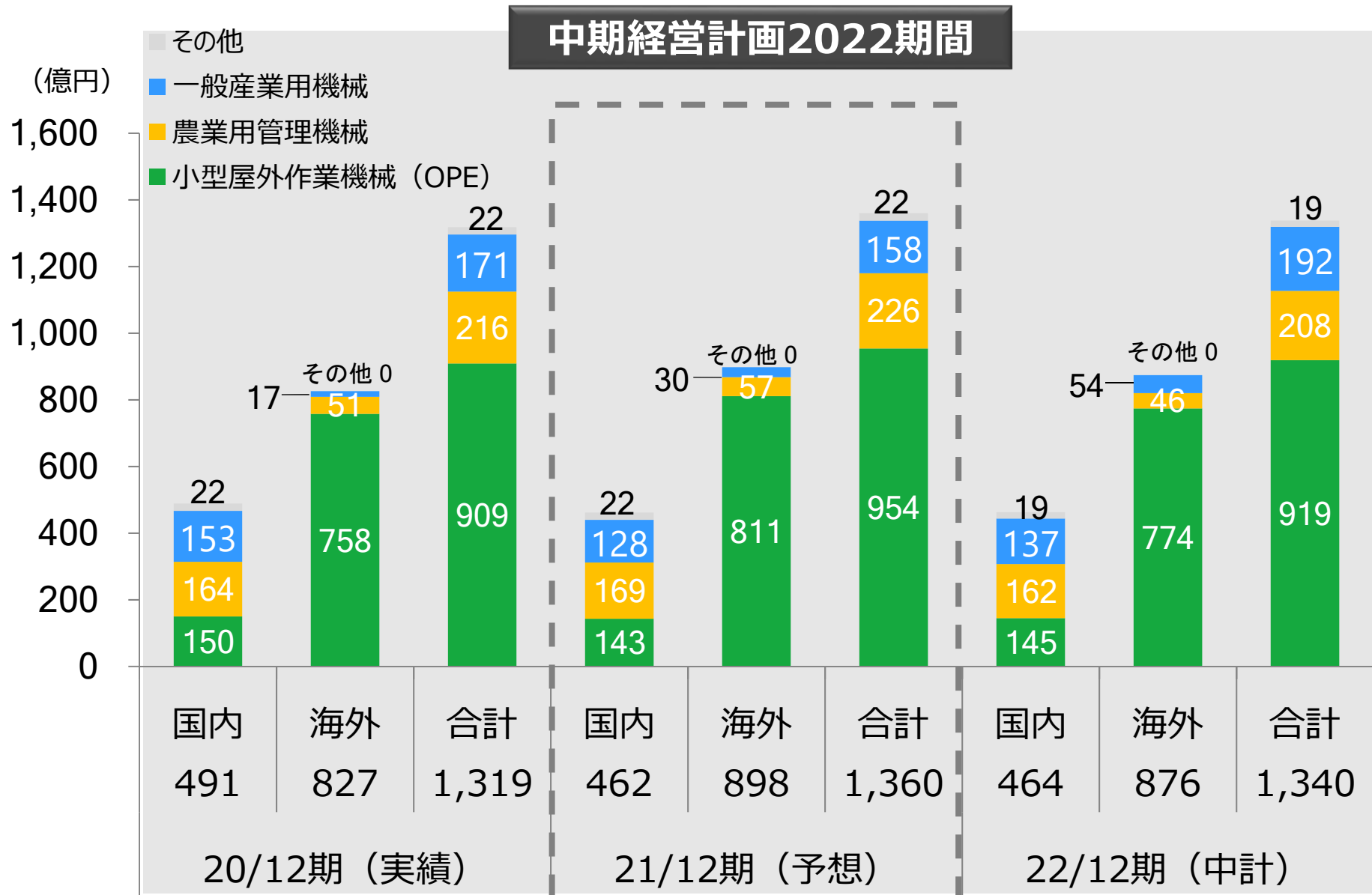
持続可能な農業を推進

一般産業用機械

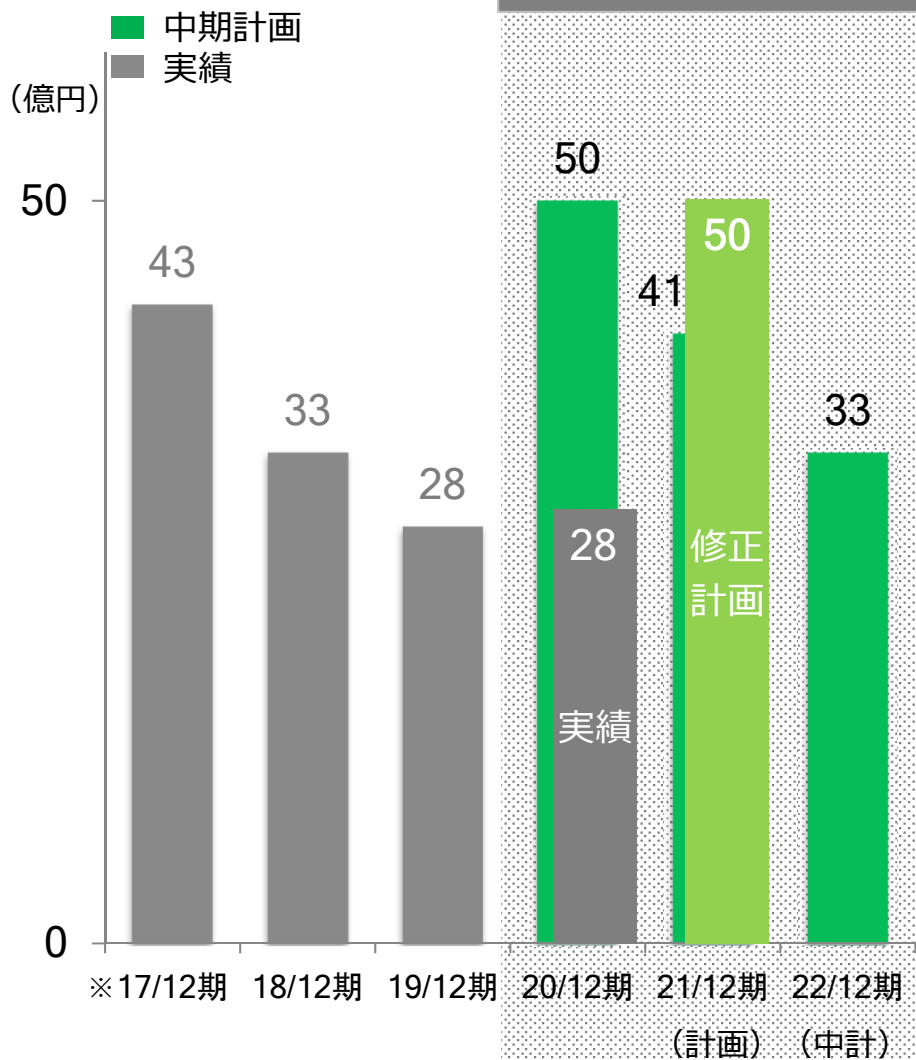


まちづくりの現場を支える

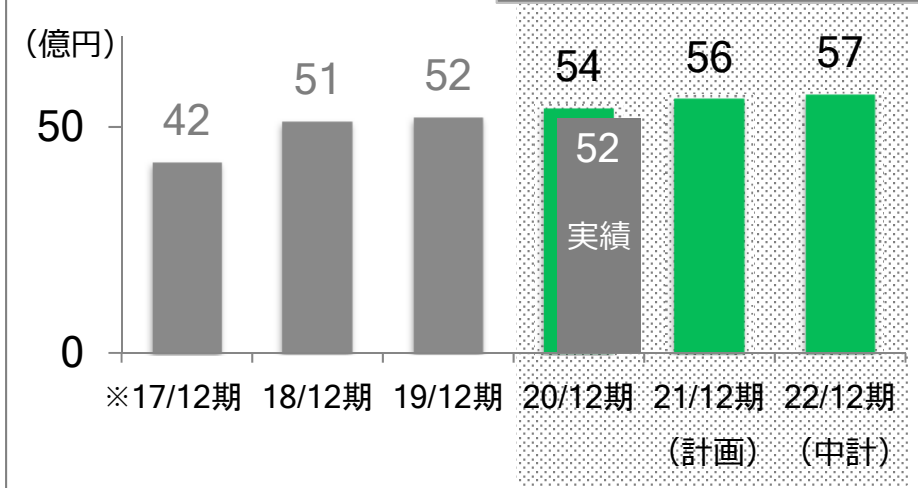
# 中期経営計画2022目標 セグメント別売上高



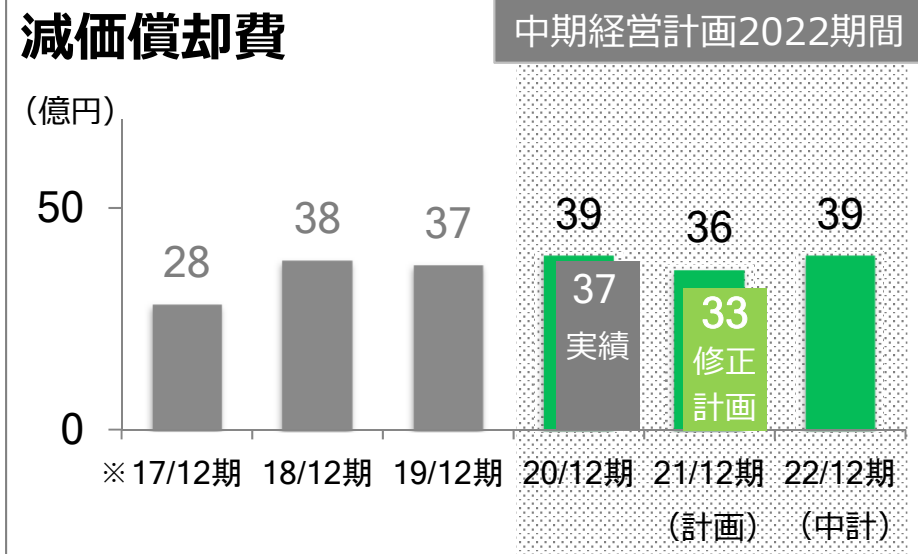
## 設備投資



## 研究開発費

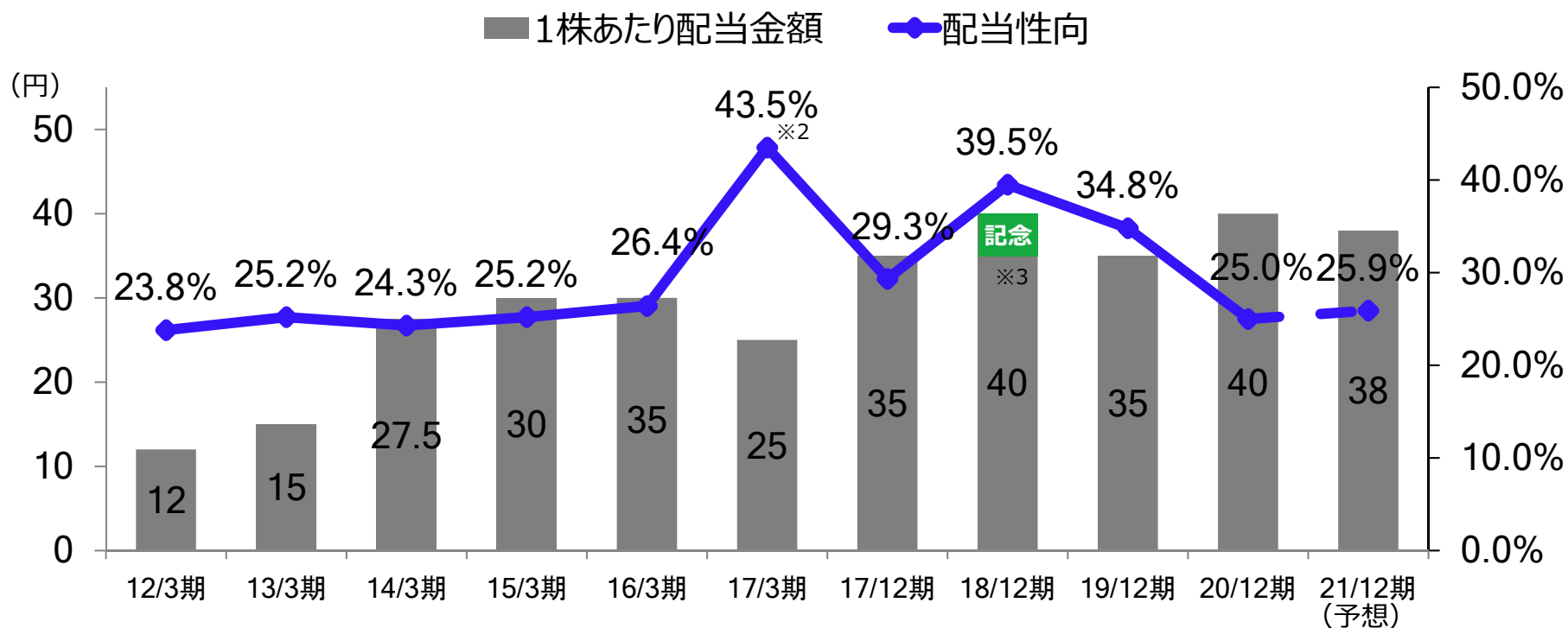


## 減価償却費



## 株主還元

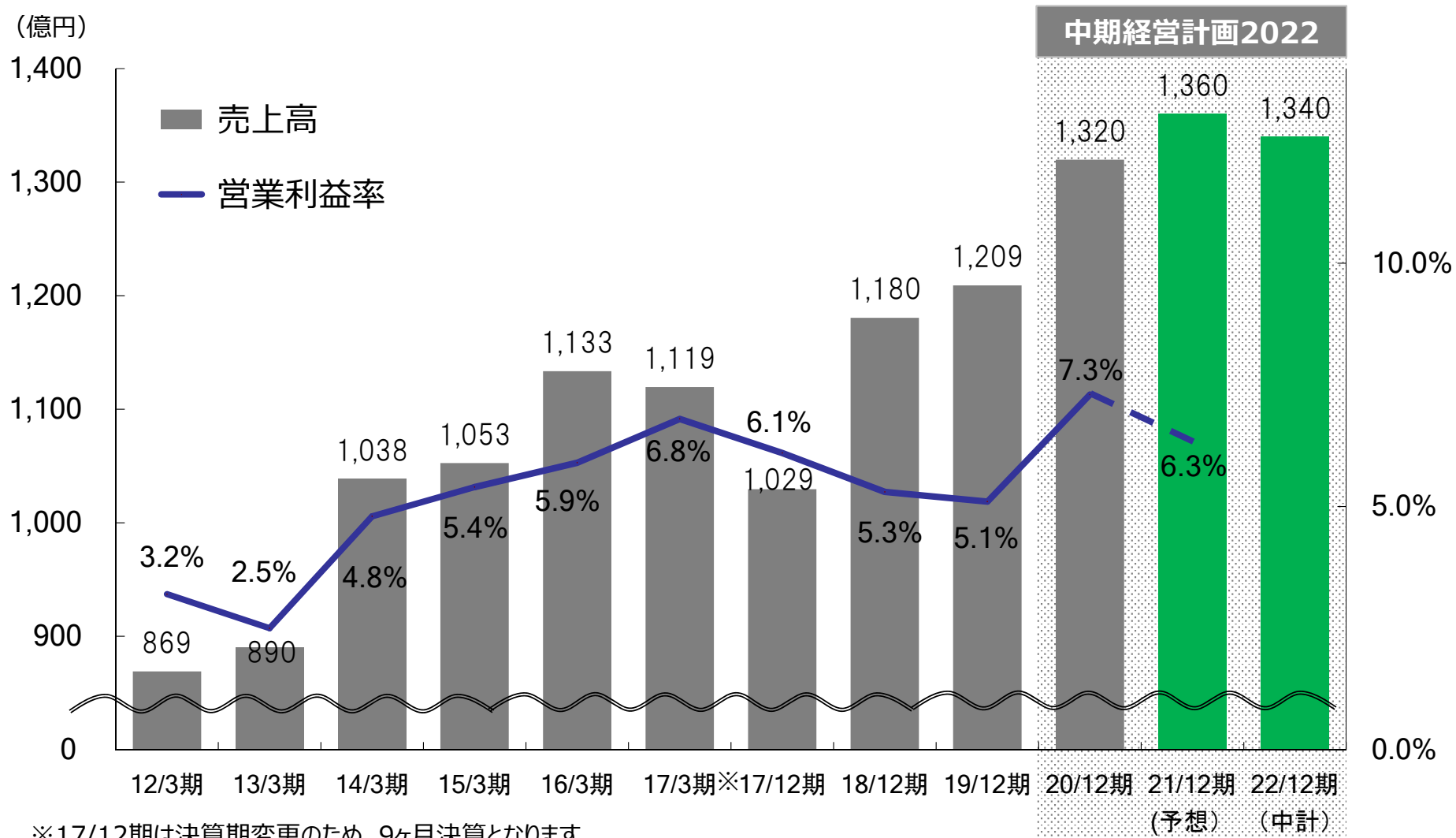
- 安定配当の継続
- 連結配当性向25%以上



※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。  
 ※2. 2017年3月期は年金基金解散損失引当金等による特別損失41億円計上し、配当性向が一時的に上昇。  
 ※3. 設立10周年記念配当5円を含みます。



# 業績推移と中期経営計画2022





YAMABIKO CORPORATION 2021.1

“企業こそダイナミズムは必要なれ、  
思考を強ふる不確実時代。  
変化する環境への調整に対応する  
実践こそは企業の姿勢なれ”

株式会社共立創業者  
小林 帛男(1903-1980)

## 創業者達の経営理念 -やまびこのDNA-

“かつて7坪半の薄暗い工場のなかで  
叫んだ様に、  
「固定概念(かきがら)を取りのぞけ」  
「創意と努力」  
を私はいつまでも叫び続けます”

新ダイワ工業株式会社創業者  
浅本 数正(1921-1993)



# 添付資料

# 株式会社やまびこ 会社概要

## 『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	131,972百万円 (2020年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	15社※ (国内6社・海外9社 / 2020年12月末現在)
従 業 員 数	3,477名 (2020年12月末現在 / 連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2020年12月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社2社を除いております。

**<社名の由来>** 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

# 『やまびこ』の歩み

株式会社 共立

1947年 (昭和22年)



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発



株式会社やまびこ

2008年 (平成20年)



新タイワ工業株式会社

1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が2008年に合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立





# 小型屋外作業機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



主に「手で持つ」もしくは「背負って」使用する小型エンジンなどを搭載した機械  
およびロボット芝刈機の製造販売、  
刈払機、チェンソー、パワーブロワ、ヘッジトリマーなど





# 農業用管理機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



乗用管理機



スピードスプレーヤ



国内における防除機械、北米における農作物収穫機械の製造販売  
スピードスプレーヤ、ブームスプレーヤ、乗用管理機、畦草刈機、ポテト収穫機など



ポテト収穫機（北米）



畦草刈機

# 一般産業用機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



売上高構成比

13.0%

(2020年12月期)



溶接機

建設工事・国土強靱化・イベント向け機械の製造販売  
発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機など

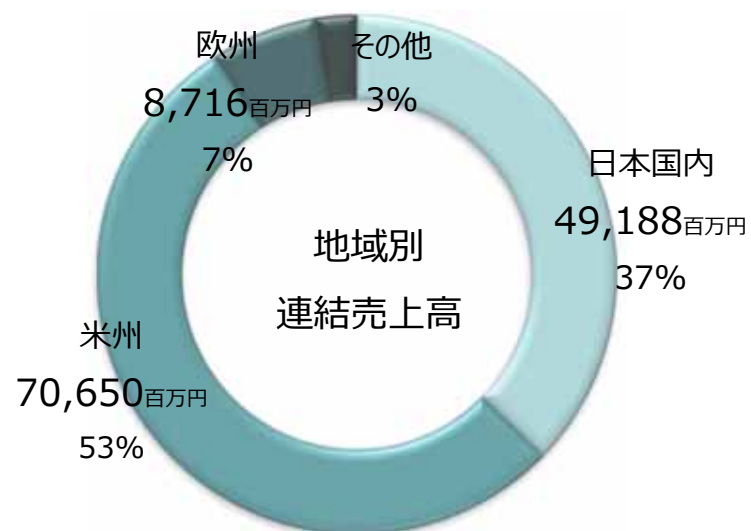
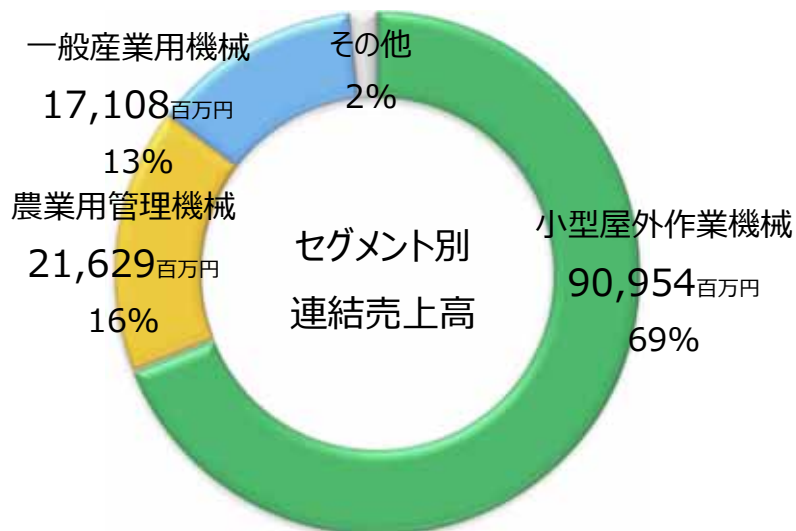


発電機

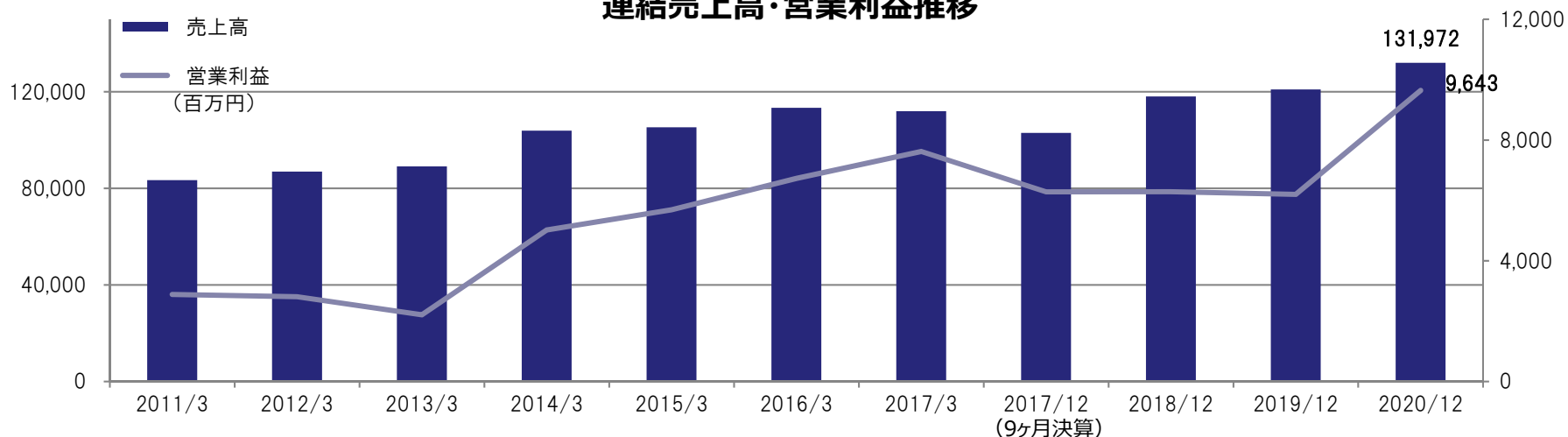


投光器

2020年12月期 連結売上高 131,972百万円



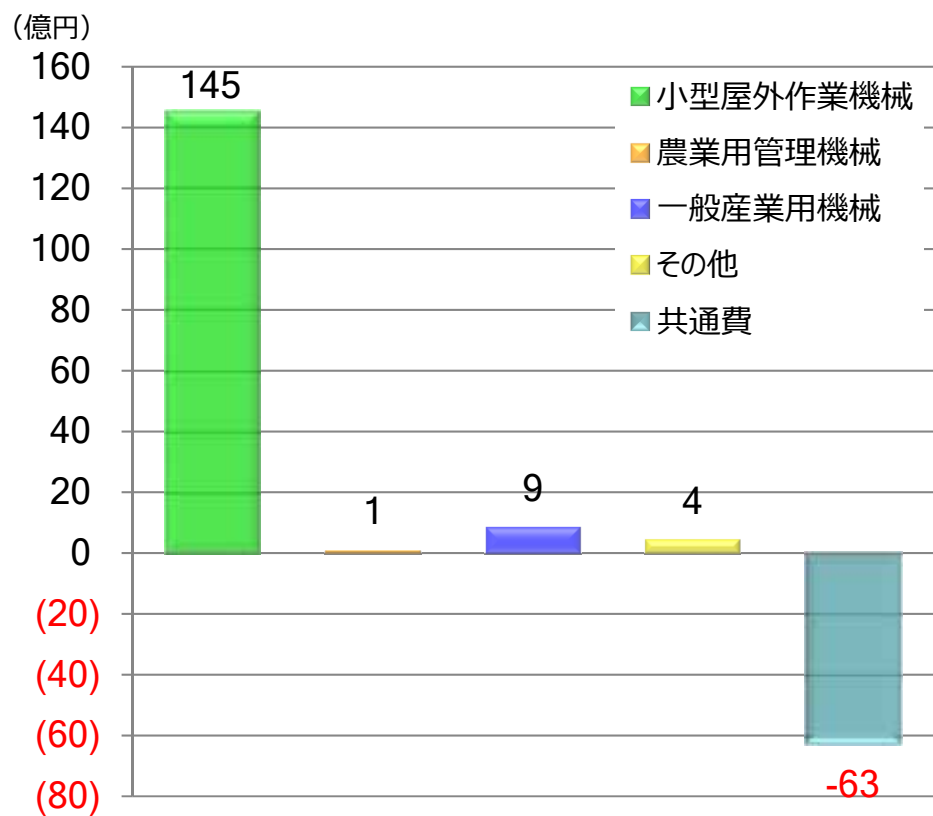
連結売上高・営業利益推移





## 営業利益構成

2020年12月期 連結営業利益：96億円



# 補足資料

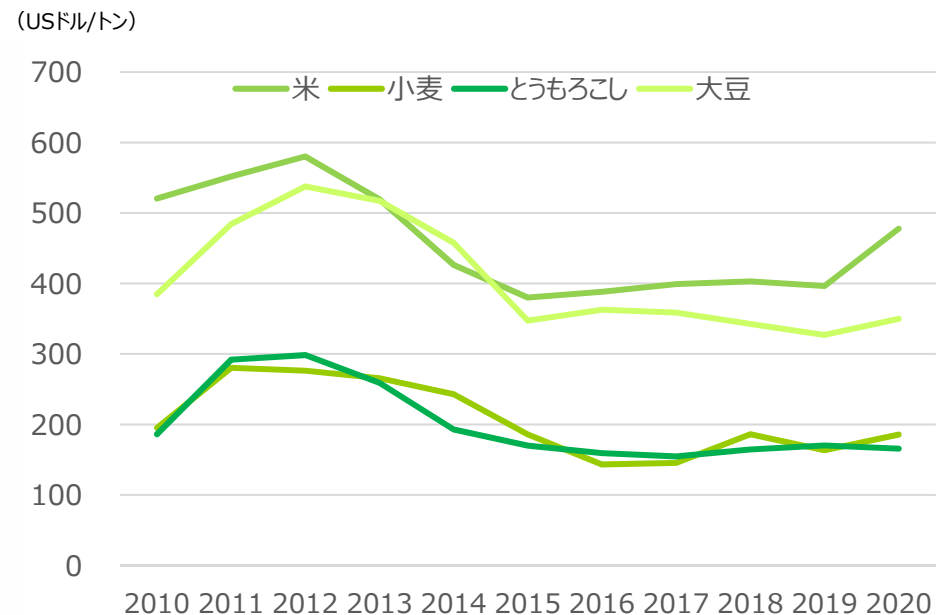
事業	関連指標等
小型屋外作業機械(OPE)	北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格（大豆、トウモロコシ、コーヒー） 等
農業用管理機械	米国：穀物価格（大豆、トウモロコシ） 等

米国住宅着工件数  
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

# 国内市場における関連指標等



事業	関連指標等
小型屋外作業機械 (OPE)	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、(一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績

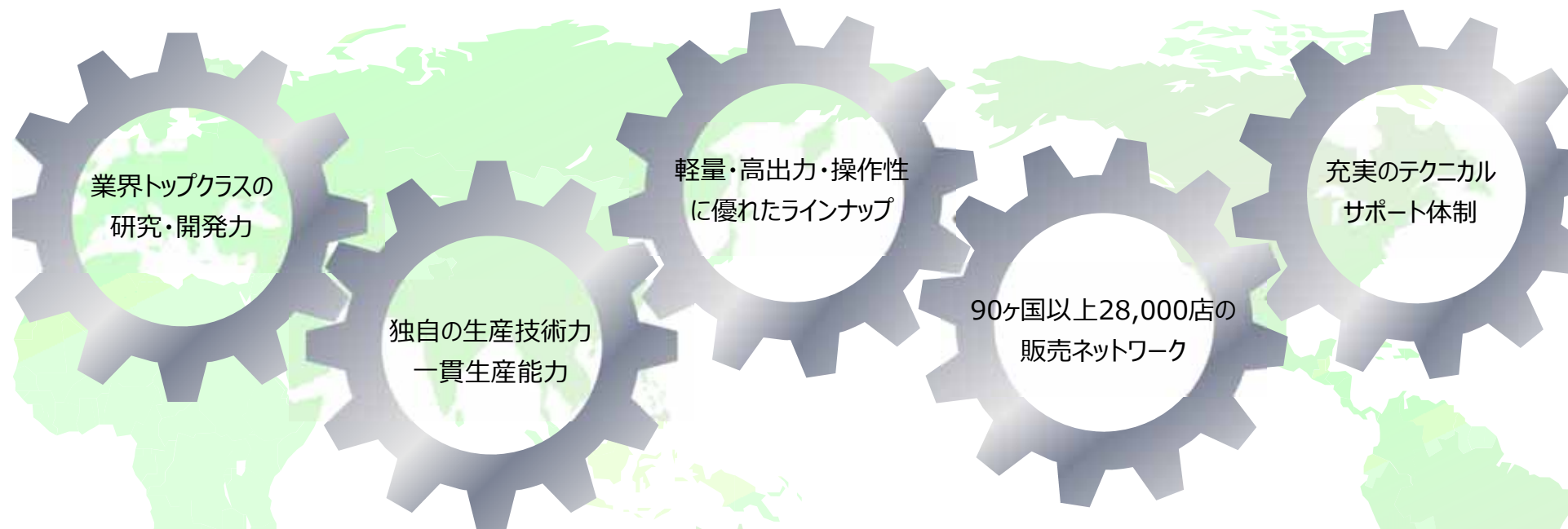


注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。(防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)  
(一社) 日本農業機械工業会出荷実績

(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)



“グローバル”での“高い競争力”を実現



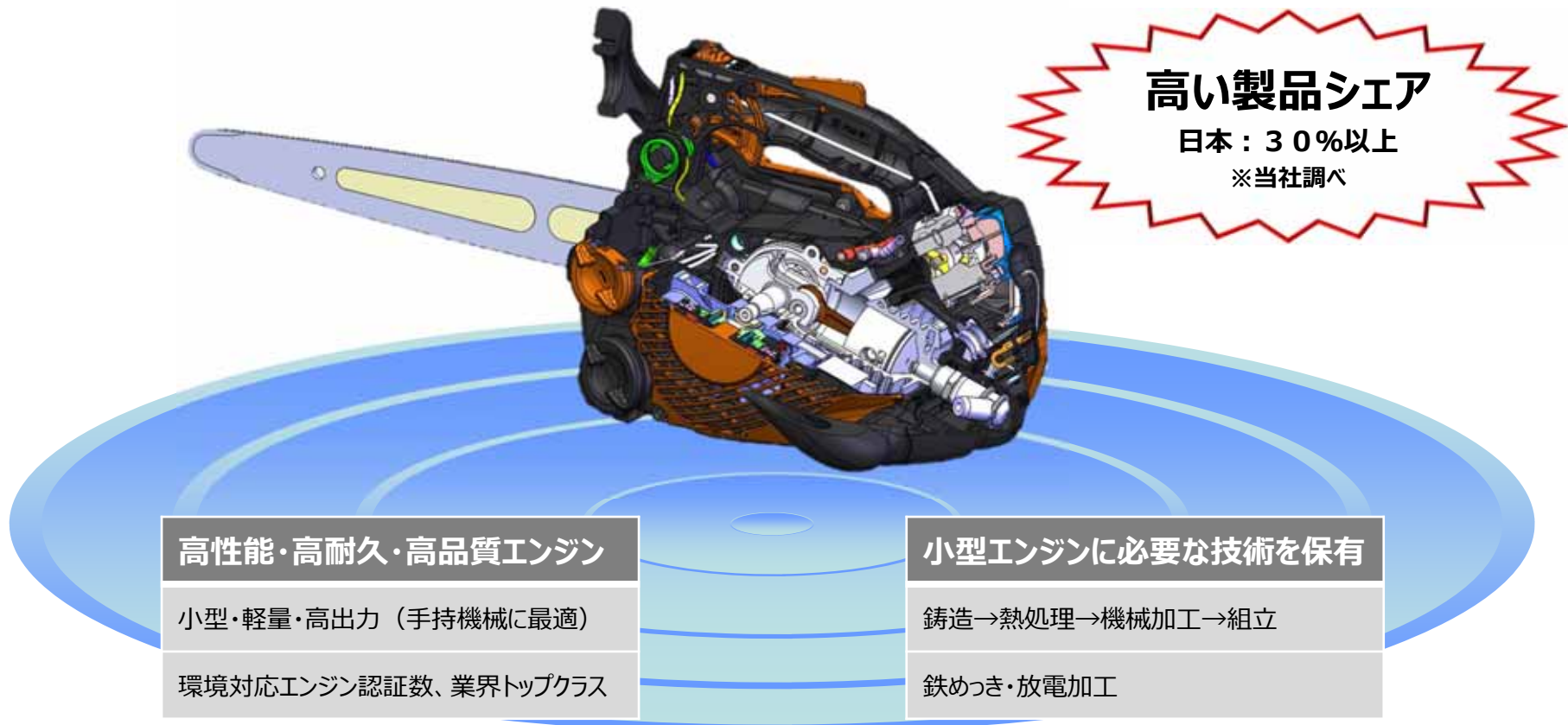
小型屋外作業機械と農業用管理機械を展開する国内ブランド

小型屋外作業機械と一般産業用機械を展開するグローバルブランド

小型屋外作業機械と農業用管理機械を展開するグローバルブランド

技術的な強み 小型エンジンの開発力・生産力 (一貫生産体制)

## 世界最高レベルのエンジン開発力



高い製品シェア

日本：30%以上

※当社調べ

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力 (手持機械に最適)

環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

鋳造→熱処理→機械加工→組立

鉄めっき・放電加工

※Outdoor Power Equipment

## 【3つの事業】 2. 農業用管理機械

技術的な強み 培った防除技術にICTを融合し、スマート農業を実現

### 送風技術

### 噴霧技術

### 散布技術

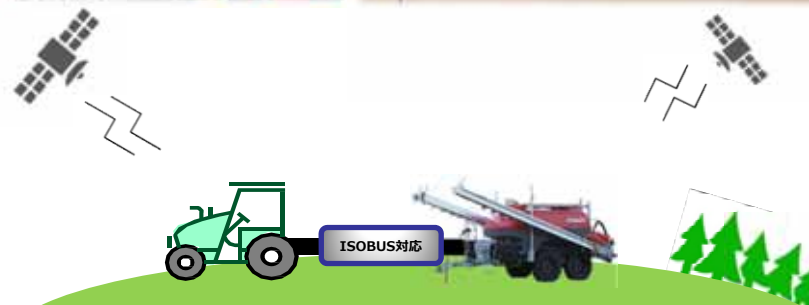
- ・水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- ・低騒音・大風量を実現する送風システムを開発。
- ・農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）  
（平均粒子径 110～270 ミクロン）



### ICT

- ・世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- ・全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- ・設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



# 【3つの事業】 3. 一般産業用機械



世界初の三相/单相3線  
切替なし同時出力可能  
(米国特許・国内特許取得済み)



ディーゼルエンジン発電機



ディーゼルエンジン溶接機



「ダブルECO」  
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた  
2つのエコ機能の開発

## ● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

## ● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・塗装・組立 等）  
防除機の製造（板金・塗装・組立 等）  
※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

## ● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・組立等）  
発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）  
※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

## ● 生産関連子会社

追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品  
双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品  
株式会社ニューテック（長野市）：鋳造部品  
やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工





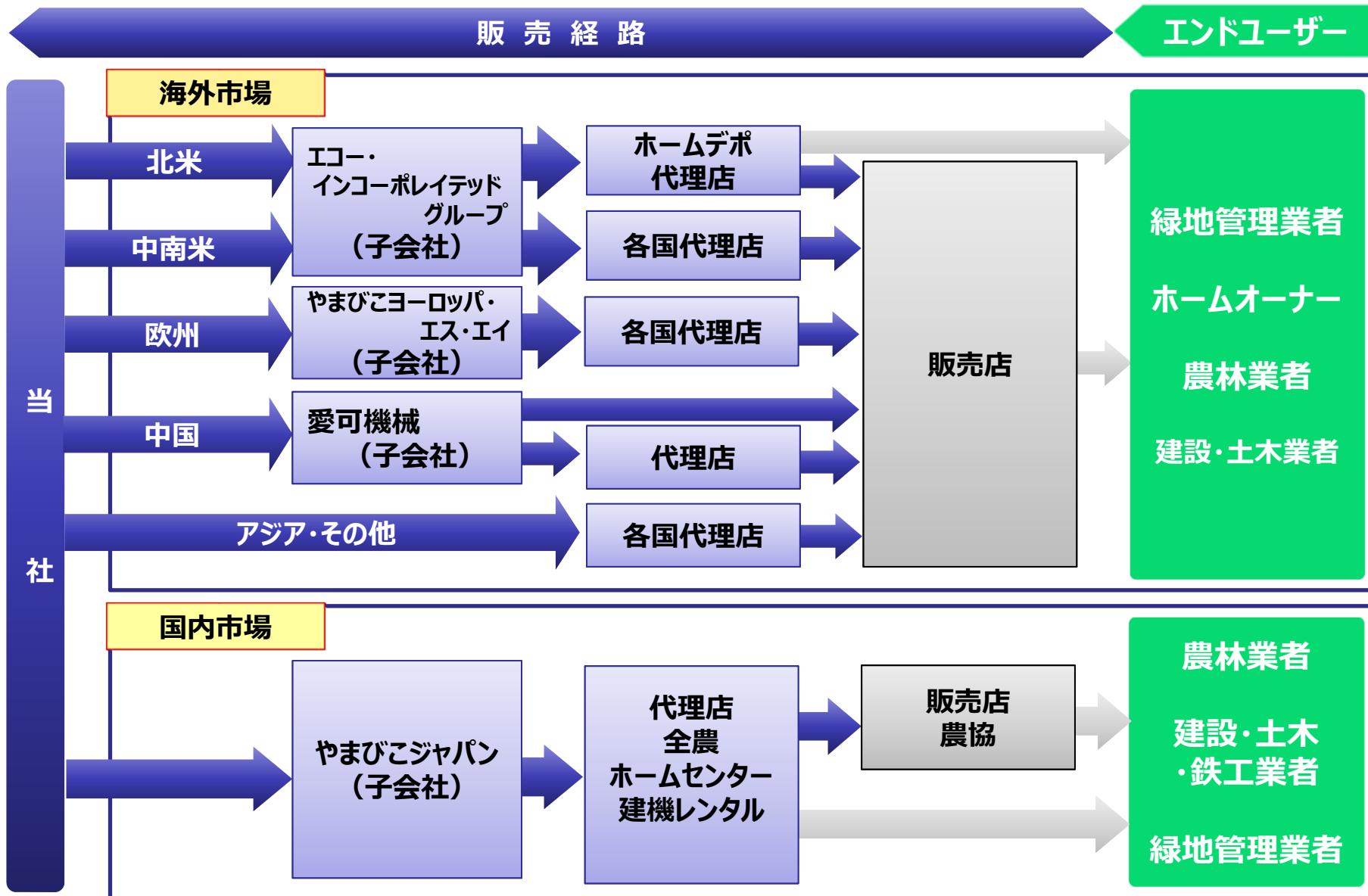
# 海外生産体制

- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**  
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**  
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**  
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**  
ロボット芝刈機の製造
- **愛可機械（深圳）有限公司（中華人民共和国 広東省）**  
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **新大華機械股份有限公司（台湾 台中市）**  
小型屋外作業機械の部品仕入
- **やまびこベトナム（ベトナム ビンズン省）**

一般産業用機械の部品製造



# 主な販売経路



## 販売経路

## エンドユーザー

### 海外市場



海外における販売店ではプロユーザーを意識した高付加価値製品群を取りそろえて対面販売。



ホームセンターにおいてはハイエンドホームユーザー向け品揃えする。



### 海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

販売店

### 国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。



### 国内市場

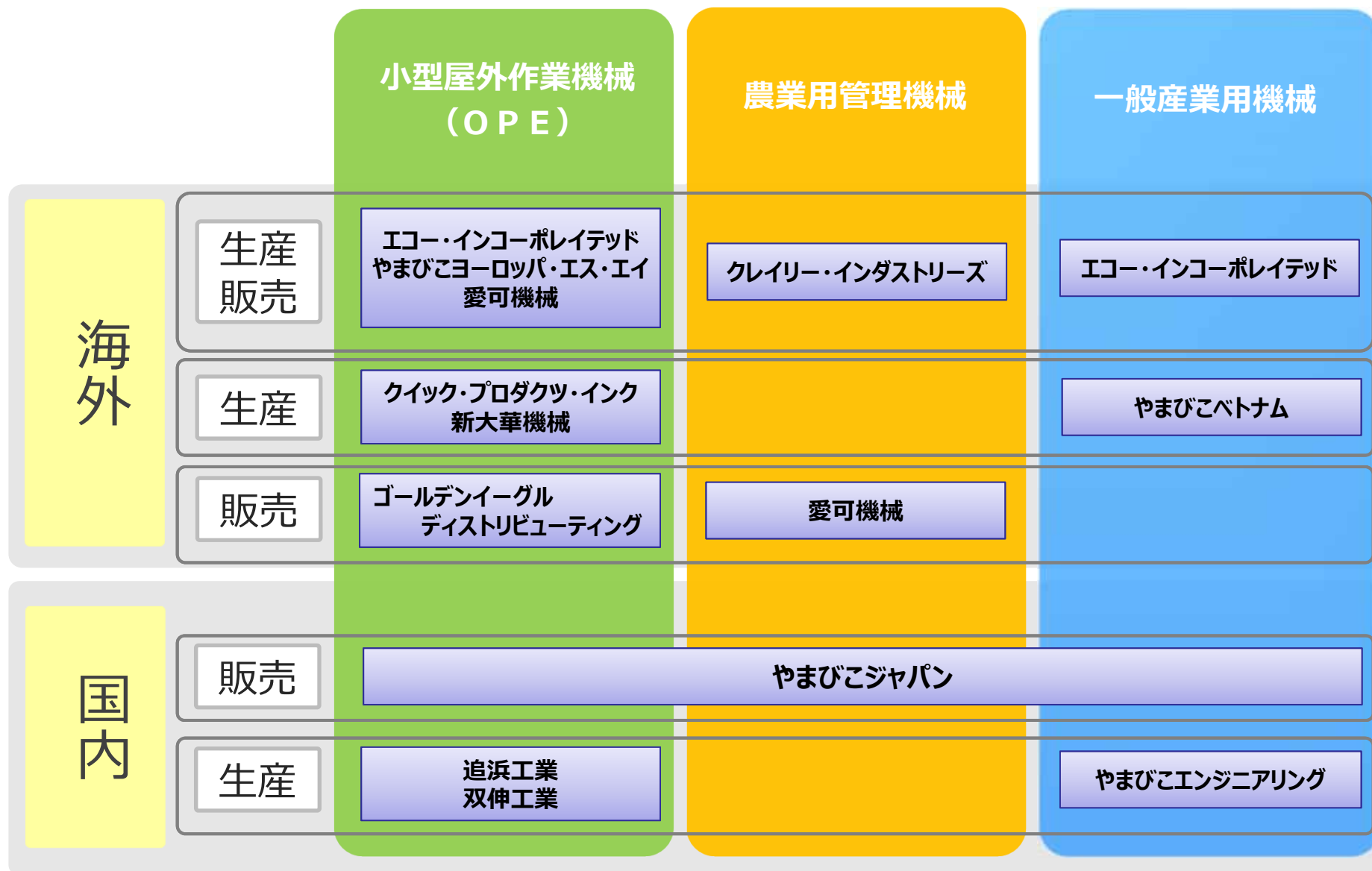
農林業家

緑地管理業者

建設・土木  
・鉄工業者



# 主なグループ会社の状況（2020年12月31日現在）



# 人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、  
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の  
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

経営企画室

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2  
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143  
e-mail : [ir6250@yamabiko-corp.co.jp](mailto:ir6250@yamabiko-corp.co.jp)